

中国の記事から（畜産）

2006年12月11日号

目次

◎湖南省産鶏卵、禁止着色料検出で香港向け輸出停止

【国際商報 2006年11月30日】

◎湖南省産鶏卵、禁止着色料検出で香港向け輸出停止

【国際商報 2006年11月30日】

香港特別行政区政府(香港特区)衛生福祉食物局の周一岳・局長は、タマゴ製品に対する品質サンプリング検査を強化し、タマゴ輸入業者登録制度を設ける予定であることを明らかにした。香港特区食品安全センターによると、2回目の品質検査でアヒルのタマゴ1個と鶏卵1個から使用が禁じられている着色料スーダンレッドIが検出された。鶏卵は湖南省産だった。これを受け本土側も香港向けに湖南省産鶏卵を輸出しない措置を採っている。また、香港特区食品安全センターは11月28日、タマゴ(アヒル、鶏)、淡水魚を対象に行った品質サンプリング検査の最新結果を発表。タマゴからスーダンレッドI、淡水魚からカラマイトグリーン(抗菌剤)などはいずれも検出されなかった。過去2週間、同センターはタマゴ187個(アヒル、鶏、ウズラのタマゴ、ピータンなど)を検査、家鴨タマゴ2個、鶏卵5個からスーダンレッドIが検出されている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。